

会 議 録

会議の名称	第7回 戸田市自治基本条例推進委員会
開催日時	平成29年 4月21日(金) 午後7時00分～8時40分
開催場所	戸田市役所 大会議室A
委員氏名	<p>◎□ 大山 宣治 ○□ 横山 誠 ■ 宮崎 快</p> <p>■ 千葉 修平 ■ 西久保 裕康 □ 柴田 忠雄</p> <p>□ 丸山 利男 □ 播 義也 ■ 市川 悦夫</p> <p>□ 武内 利行 ■ 菅原 光正 ■ 岡本 莉奈</p> <p>□ 伊藤 寛幸 □ 遠藤 英樹 ■ 細田 昌孝</p> <p>■ 川上 実雪 □ 廣井 佑磨 ■ 松下 啓一</p> <p style="text-align: right;">(◎委員長 ○副委員長)</p> <p style="text-align: right;">(□出席 ■欠席)</p>
事務局	後藤課長 石原主幹 元谷主事 大内主事
議 題	<p>1 平成28年度職員協働研修会について(報告)</p> <p>2 平成29年度実施スケジュール(案)について</p> <p>3 その他</p>
グループ ワーク	<p>1 平成29年度フォーラムについて(テーマ等)</p> <p>2 平成30年度実施事業について</p>
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	<p>1 第7回会議資料</p> <p>2 平成28年度教養講座「協働研修会」 概要</p> <p>3 平成29年度自治基本条例フォーラム 日程案一覧</p>
議事録確定	<p>平成 29年 5月 31日</p> <p style="text-align: center;">委員長 大山宣治</p>

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 平成28年度職員協働研修会について(報告)</p> <p>第7回会議資料及び「平成28年度教養講座『協働研修会』概要」に基づき、以下のとおり報告</p> <ul style="list-style-type: none">・ 日時 平成29年3月21日(火)・ 参加者 市職員36名・ テーマ 「職員の経験談から学ぶこれからの市民協働」・ 内容 ①職員協働ハンドブック「協働羅針盤」の概要説明 ②パネルディスカッション・ パネルディスカッションの内容 パネリストである市職員からは、事務局として市民の方と関わった経験から、市民委員との関わり方やその選考方法、実際に市民委員を入れて良かった点や苦労した点について意見が出された。 また、参加者に対して、市民と協働していくうえで重要なこととして、「意見がまとまらないことを面倒くさがらずに、とことん付き合っていくこと」「情報不足の解消や情報共有の場を設置すること」「キーマンを発掘し育成すること」「協働によって市民との信頼関係を作っていくこと」が伝えられた。 参加者からは、「職員によるパネルディスカッション自体あまり経験がなく、他の職員にも聞かせたい」「このような形で経験をもとにした具体的な話を聞くことができたのはとても良かった」、等の意見が出された。
委員	職員の中で、「協働が浸透されていない」と感じられるような意見が出ていれば教えていただきたい。
事務局	今回の研修に限らず、部署によっては、「協働できる業務がない」という思いを持っている職員がいるのが現実である。確かに業務として協働が難しい部署もあるが、そういった場合には、情報共有を図ったり、情報公開を進めたりすることも協働の第一歩である、ということを事務局として伝えているし、今後も伝え続けなければならないと感じている。

委員	ぜひ、今後も職員への周知・啓発を進めていただきたい。
委員	参加者から、「市民」の定義について何か質問などはありましたか。
事務局	特に質問は出なかった。
委員	パネリストとして自治基本条例検討準備委員会の事務局が入っていないことは残念に感じる。自治基本条例制定の過程では、普段協働をあまり経験していない部署の職員もワーキンググループの一員として入っていて、良い経験ができたという声を聞いている。そのような人材が埋もれてしまっていないか心配である。人選については、入庁して数年のもっと若い職員を入れる等の工夫をしてほしい。
事務局	<p>今回は、できるだけ近い時期に行われた市民協働会議を選びたかったので、直近に行われたこれら3つの会議の事務局職員にパネリストを依頼した。若手職員ではなく副主幹職の職員を選んだ理由としては、業務全体を把握したうえで、会議を進行・管理する立場から良かった点や課題点を言ってもらいたいという考えがあった。</p> <p>また、時間の都合もあり、今回は3つの会議に絞らせていただいた。今後も職員協働研修会は継続するので、実施手法を色々と工夫をしながら進めていきたいと考えている。</p>
	(2) 平成29年度実施スケジュール(案)について
事務局	<p>第7回会議資料をもとに以下の内容について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度の推進委員会のスケジュールと実施内容について ・ 平成30年度実施事業について <ul style="list-style-type: none"> 予算の都合もあるので、8月の委員会までに内容を固めたい。 ・ フォーラムの実施時期について <ul style="list-style-type: none"> 事務局としては、第一期中の10月ごろに開催をしたい。そこで出た成果や課題などを答申に含められれば良いと考えている。 ・ 第二期推進委員会について <ul style="list-style-type: none"> 事務局としては、基本的には現委員の皆様にご継続していただきたい。継続の意向については、改めて確認させていただきたい。
委員	フォーラムの実施を考えている10月前後は、市内でも毎年多くのイベントが開催されている。その中で、会場の確保も含め実施できるのか、実施するのであればいつ頃を考えているのか。事務局のイメージがあれば教えていただきたい。

事務局	<p>「平成29年度自治基本条例フォーラム 日程案一覧」をもとに実施日程案について説明</p> <p>候補日として、10月8日(日)、9日(月・祝)、21日(土)、22日(日)、11月4日(土)、5日(日)が挙げられる。</p> <p>これを参考に意見をいただければと考えている。</p>
委員	<p>10月28日(土)、29日(日)の商工祭と一緒に開催するのも良いのではないかと。</p>
事務局	<p>可能性としては考えられるので担当課に確認する。</p> <p>ただ、場合によっては、他の団体や組織等の関係者として商工祭に参加しなくてはならない委員もいると思われる。その部分も含めて意見をいただき検討したい。</p>
委員長	<p>個人的には、10月9日(月・祝)、14日(土)、15日(日)、29日(日)はイベントに出なくてはならないのでフォーラムに出席できないことになる。</p> <p>また、あいパル・さくらパルは新しい施設で良いのだが、駐車場の問題もあるので、市役所・文化会館が望ましいのではないかと。</p>
委員	<p>前回のフォーラムは年配の参加者が多かった。どうすれば若い人をはじめ様々な市民に参加してもらえるのかを考えると、市民が多く集まるイベントに日程を重ねることも一つの方法だと思う。</p> <p>もっと、若い世代や子育て世代が参加しやすいような配慮を考える必要があるのではないかと。</p> <p>また、会場について、市役所だと行きにくいけど、あいパル・さくらパルなら行きやすい、という子育て世代の方もいると思う。</p> <p>フォーラムのねらいによって会場も変わってくると思う。</p>
委員	<p>フォーラムの内容を考えながら決めたほうが良いのではないかと。内容によっては、無理に10月にやらなくても良い、という結論になるかもしれない。</p>
委員長	<p>それでは、フォーラムについてはおおよそ実施する方向で話が進んでいるので、次のグループトークに移って、そこで内容について意見を出しながら、実施時期も検討するという形で良いでしょうか。</p> <p>《異議等なし》</p> <p>(3) その他</p> <p>委員及び事務局から、「その他」事項は特になし。</p>

委員長	<p>それでは、本日の議題についてはすべて終了となりましたので、次のグループワークに移りたいと思います。 グループワークの進行は事務局にお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>4 グループワーク</p> <p>第7回会議資料をもとに進行方法について説明 P3に記載されている二つのテーマについて意見を出し合ってください。今日の話し合いで意見をまとめて結論を出すのではなく、あくまで意見出しをしていただきたい。今日出された意見は事務局でまとめ、次回委員会に資料として提出をさせていただき、更に皆さんで議論を重ねていただきたいと考えている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">(1)「平成29年度フォーラムについて（テーマ等）」</div>
事務局	<p>まず、フォーラムの内容について意見をいただく形で進めたい。</p>
委員	<p>前回のフォーラムでは、「町会・自治会」をテーマにして、普段から町会・自治会活動や地域活動に関わる機会の多い方が対象となっていたように思う。 今回は、その逆の感覚を持っている方、戸田に住んでいて愛着もあるけれど、町会・自治会活動や地域活動に参加したことがない方の意見を聞いてみたい。そういった方が参加しやすいものにできればよいと考えている。</p>
委員	<p>私も町会・自治会活動や地域活動に参加したことがない方を呼べればよいと思う。 そう考えると、町会に加入していないマンションに住んでいる方も候補の一つになるのではないかな。</p>
委員	<p>私もそう感じる。そのためにも、「商工祭」などの大きなイベントとコラボができれば、ふと立ち寄ってもらえる可能性も考えられてよいのではないかな。</p>
委員	<p>マンションに住んでいる方々を対象とし、「町会・自治会が必要」という考えを押し付けるのではなくて、しっかりと意見を言える場を作れば参加してくれるのではないかな。</p>
委員	<p>「町会・自治会なう」の第2弾として、以前も意見が出た「マンションサミット」のようなものを実施するのも良いと考える。</p>

	<p>そうすると自然と対象も絞れてくるのではないか。</p>
委員	<p>そう考えると、市内のマンションで自治会を持っている2つの自治会に意見をいただく、話をさせていただくのも良いと思う。</p>
委員	<p>逆に町会に入っていない、あるいは自治会を設立していないマンションの方の意見の方が同意しやすいかもしれない。</p>
事務局	<p>今、町会に加入していないマンションの住民を対象にする件についていくつか意見が出ているが、それ以外に何か意見はないか。</p>
委員	<p>子育て世代の方は、思っていること、言いたいことが多いのではないかと。前回のフォーラムで条例について参加者にどこまで伝わったかわからないが、少なからず意見を聞いてくれる、協働しようとしている、と感じてもらえたのは良かったと感じる。そう考えると、何か伝えたい思いがある世代の人を集めても良いのではないかと。</p> <p>現状の戸田市の課題として、まちづくりの担い手が高齢化している、若い世代にうまく継承できていない、ということが挙げられる。その点で、地域活動に参加したことがない方を集めるのは面白いと思うが、そういう人を集めるには工夫が必要だと思う。</p>
委員	<p>「協働」はゴールや落としどころを決めてしまうと面白くないと思う。それでは、地域活動に参加したことがない方は参加しないと思う。</p> <p>そう考えると、少なからずリスクのある内容を実施するのも一つの方法であると思う。</p>
委員	<p>前回のフォーラムでは100名近くの方が参加してくれた。今回も同じ内容というわけにはいかないが、同じ方向性で改善をしていけば、前回の参加者がまた参加してくれるかもしれないし、継続性にもつながるのではないかと。</p>
委員	<p>以前も話したが「自治基本条例」というワードはなかなか伝えづらい。ひとりで伝えられる標語のようなものが必要ではないかと。</p> <p>まずは委員である我々が条例についてシンプルに伝えられるようなものが必要ではないかと思う。</p>
委員	<p>率直な考えをいうと、分からない、というのが正直なところである。フォーラムで、マンションに住んでいて町会・自治会活動や地域活動に参加したことがない人や町会・自治会について意見のある人を集めることが、どのように「協働」につながっていくのか。</p> <p>まちの中には、市民が知らない「協働」はいくつもある。例えば、町会と市民活動団体が一緒に「子育てサロン」をしたり、商店会と市民活動団体がコラボしたり、という例がある。</p> <p>イベントについては、人は興味がなければ来ない、と思う。その中</p>

	<p>で、来ない人を集めるのか、来そうな人を集めるのか、その辺が私自身はイメージが湧かない。</p>
委員	<p>前回のフォーラムで出た参加者の共通した意見として「若い人が少ない」というものが挙げられていた。その若い人の中でもエネルギーがある人はいるのではないか。そのような人が魅力を感じて参加できるようにするにはどうすればよいか、考える必要がある。</p> <p>せっかくフォーラムを開催するのだから、そこで出された課題を取り上げていくことも必要ではないか。</p> <p>いろいろな意見や問題を持っている人を集めて意見を出し合える場を作ることが必要だと思う。</p>
委員	<p>第二期が発足してから、第一期、第二期の委員と一緒にフォーラムを開催することは可能なのか。</p>
事務局	<p>事務局の考えとしては問題ないと思う。</p>
委員	<p>そうであれば、12月以降に、第一期、第二期の委員と一緒に開催しても良いのではないか。</p>
事務局	<p>ここで一旦方向性を確認したいと思うが、フォーラムの実施自体について、「実施する」ということでこれからの議論を進めても良いか。</p> <p>《異議等なし》</p>
事務局	<p>それでは、フォーラムを開催するという方向で改めて意見をいただきたい。</p> <p>これまでは内容についていくつか意見をいただいたが、時期について少しお考えいただきたい。事務局案としては、第一期のまとめの意味も含めて10月に開催したいと考えているが、先ほど意見が出たように、第二期発足以降に開催するという案もある。皆さんの意見をうかがいたい。</p>
委員	<p>開催時期については、今日の委員会である程度絞らないと施設の確保ができないのではないか。</p>
事務局	<p>10月、11月であれば、今日ある程度絞っていただくと施設の確保はしやすい。ただ、10月の中でいくつか候補を出していただいて、さらに12月、1月以降でまた候補を出していただく形でも良いと思う。</p> <p>市役所の会議室であれば、いくつか候補を出していただければ仮予約することはできる。例えば、10月22日（日）を仮で予約しておき、12月以降の実施の可能性も考えていく形でも良いと思う。</p>

委員	<p>事務局の10月に実施をしたい、という考えも理解できるし、12月以降に第二期の委員と一緒に開催する、という意見も非常に良いと思う。もし可能であれば、10月の市役所会議室を仮予約し、次回の6月の委員会で開催時期を決定しても良いのではないか。</p>
事務局	<p>フォーラムの開催日程案として、今日の時点では次の2つの候補に絞って、次回の委員会で決定する形で良いか。</p> <p>①第一期中の10月に開催 ※10月22日(日)、28日(土)、29日(日)の市役所大会議室を仮予約する。</p> <p>②12月以降、第二期に入ってから、第一期の委員と一緒に開催する。</p> <p>《異議等なし》</p>
事務局	<p>フォーラムの内容について、これまでに出た意見をまとめると、「町会・自治会活動や地域活動に参加したことがない方を集める」「子育て世代など、言いたいことが多くある世代をターゲットにする」「自治基本条例を一言で表せる標語のようなものを考える」という3点が挙げられると思う。</p> <p>(1)について、その他に意見はあるか。</p>
委員	<p>前回のフォーラムで出た意見の中で、「町会・自治会ありきではないまちづくりの枠組みを考える機会はないのか」という言葉が印象に残っている。</p> <p>都市部にあり、人口流動が激しい戸田市で、町会・自治会を意識しなくても生活できてしまう、という現実の中で、現実的にどのようなつながりが必要なのか考える場が欲しい、という意見があった。</p> <p>新たなまちづくりの形を考える機会があっても良いのではないかと感じる。</p>
事務局	<p>フォーラムの開催時期、内容については、次回の委員会で再度話し合っていたいただき、方向性を決めていきたい。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">「(2)平成30年度実施事業について」</p> <p>平成30年度実施事業の中で、新たに実施するものがあれば、予算の都合もあるので、8月の委員会までには内容を固めたい。</p> <p>平成28年度の委員会でいただいた意見を資料に記載してあるので、こちらも参考にして意見をいただきたい。</p>
委員	<p>倉庫をテーマにしたい。戸田市内にはたくさんの倉庫があるが、その実態を市民はなかなか知らない。倉庫の役割などを子ども達に伝え</p>

	<p>たい。見学ツアーなどを組んで、そのあとに意見交換などを行えば良いのではないか。</p>
委員	<p>以前も意見として出したが、「夢のまちコンテスト（仮称）」は実施したいと考えている。子どもの夢に大人が本気で取り組むことがとても良いと思う。大人、子ども、行政、議会による協働になるのではないか。数年先に実施するのであればアイデアは公募にしても良いし、これを一つの協働を体験する場にできればよいのではないか。</p>
委員	<p>様々なイベントがあると思うが、遊びのような仕掛けの中にも、条例の要素を散りばめていくことが必要ではないか。難しいことをやっても人は集まらないと思う。</p> <p>倉庫ツアーも面白いと思う。倉庫によってやっていることも異なるので、多くの倉庫に協力いただけたら面白いのではないか。</p> <p>一つの案として、以前も考えとして挙げた「ギネス」に挑戦、というのも面白いと思う。</p>
委員	<p>下水道ツアーはどうだろうか。先ほどの倉庫見学ツアーのような形で実施をしても良いと思う。</p>
事務局	<p>今まで出されたアイデアの中に「協働」や「自治基本条例」の要素が入れられれば良いと思う。</p>
委員	<p>自治基本条例を我々委員がうまく説明できない、というのは、条例自体の本質をとらえていないことが理由だと考えられる。「自治基本条例」という固い言葉をどのようにみんなのものにしていくのか、考えていければよいと思う。</p> <p>標語の決定についても、公募というよりは、フォーラムのように多くの方が集まった場で決めても良いと思う。標語を決めるには条例の内容を理解していないといけない。そのためのワークショップなどができればよいと思う。</p>
委員	<p>自治基本条例を辞書で単純に直訳すると、「自分や自分達に関することを自らの責任において処理すること、の基本的な約束」となる。これを自分の言葉で具体的に説明ができればよいと思う。</p> <p>一方的に意見を言うだけでなく、様々な立場の人の意見がある中で自分たちの問題を解決していくことが大切ではないか。</p> <p>条例を広めていく上で大切なのは、ある分野にスポットを当てていく中でも、その人たちの意見だけを聞く、ということがないようにしないといけない。そうでないと自治にはならない。</p>
事務局	<p>これまで、イベントの実施について意見をいただいているが、それだけではなく、啓発品や印刷物に関する内容でも問題はないと考えている。</p>

	<p>事務局としては、例年予算化している部分は継続していきたいと考えているが、そこにさらに新しいことがやりたい、という事であれば、どのような内容でどのくらい予算が必要か、詳しく組み立てる必要がある。そのために今の段階で皆さんの意見をいただきたい。</p>
委員	<p>キャッチフレーズのようなものを決めることができれば、それを掲載した啓発品を配れる。そうすれば、より市民に広めることができるのではないか。</p>
委員	<p>市民を集めてキャッチフレーズを決めるといっても、市民はなかなかイメージが湧かないのではないかと。それであれば、協働の具体例となるイベントを示していければよいと思う。</p>
委員	<p>予算のことを考えると、ノベルティが組み立てやすいと思う。50周年の時に作ったエコバックは、駅前で配布してすぐなくなったと聞いている。実用性のあるものであれば、市民はもらって使ってくれると思う。そこに「自治基本条例」やそのキャッチフレーズのようなものが書いてあるだけでも周知にはなると思う。</p>
委員	<p>そういったものが作れば、今後イベントを実施するときにも配布することができる。</p>
委員	<p>以前、事務局で作成した「マンガパンフレット」は非常に面白いと思う。身近な困りごとをみんなで解決する内容になっており、これは子ども、大人いずれにもプラスになると思う。ここで書かれた内容を表したキャッチフレーズが書かれた啓発品を市民が持っている、というものも良いと思う。</p> <p>身近な問題を自分たちで解決していくことの大切さを伝えられるようなものができればよいのではないかと。</p>
委員	<p>公用車をラッピングして、まずは条例の名称自体をPRしていくのはどうだろうか。あと、国際興業バスをラッピングしても面白いのではないかと。</p>
事務局	<p>不可能ではないが、検討、調整が必要だと思う。他の方法として公用車にマグネットを貼るという方法が考えられる。</p>
事務局	<p>次回の委員会では、今日の意見をさらに具体化できれば良いと思う。例えば、キャッチフレーズを決めるにしても、コンテストのような形で行うのか、ワークショップのような形で行うのか、それによっても予算の組み立て方が変わってくる。</p> <p>昨年出された意見が少しずつではあるが形になってきていると思う。今後も話し合いを重ねて、さらに具体化していきたいと考えている。</p>

本日のグループワークは以上とさせていただきたい。

5 事務連絡

6 閉会